



今日は、前回決めたテーマをもとに、いよいよ提案文を完成に近づける作業を行いました。子どもたちは事前にテーマについて調べ学習をしており、その成果を持ち寄って、話し合いながら文章を作り、足りない部分は部分はパソコンなどで調べることが中心でした。

## 提案文づくり本格的にスタート

グループごとに分かれ、家で調べた資料をもとに、「何を伝えたいのか」「どんな順番で書けば分かりやすいか」を相談しました。それぞれのチームが、自分たちの言葉で滋賀の課題や解決策を整理し、お互いに確認し合いながら文章を作り上げていく様子が印象的でした。



## 話し合いとまとめることの難しさを感じる

ほとんどのグループが、話し合いを通して意見をまとめることに苦戦していました。考え方の違いから話がすれ違ったり、構成を決めるのに時間がかかったりと、思うように進まない場面も多く見られました。中には、「自分の言っていることがうまく伝えられなかった」「情報が多すぎて頭の中がぐちゃぐちゃになった」と感じる子もいました。それでも、「もっと意見をはっきり言えるようになりたい」「次は整理して伝えられるようにしたい」と前向きにふり返る姿がありました。今回の活動は、提案文を完成させるというより、自分たちの考えをどのように形にしていくなかを探る段階としての意味合いが強く、難しさの中にも学びと成長が見られた一日でした。



## 次回に向けて

次回はいよいよ、提案文の完成と発表準備に向けた最終段階に入ります。今回の学習では、内容をまとめる難しさを感じながらも、少しずつ「伝えるための言葉」を考える姿勢が生まれていました。今後は、もう少し意見を出しやすい雰囲気づくりや相手の意見を尊重し、聞く姿勢も大切にして取り組んでもらえたらと思います。

今回は、滋賀の未来を見据えた提案文がどのように完成するのか、楽しみです。